
2022年度 桃山学院大学生の 学生生活上の諸活動に関する実態調査

桃山学院大学 学生生活委員会

■本調査について

多様化する学生の実態を把握することは、学生サービスの更なる充実に繋がるとともに、大学の自己点検・自己評価の指針として重要である。

そこで本学では、1994年より毎年1回、ポイントを絞った形で独自の学生生活実態調査を実施している。94年度は奨学金制度の改革および特に下宿生へのサポート体制の確立に向けた資料作りとして「経済状況調査」を実施し、翌95年度は和泉キャンパス移転に伴う学生生活の環境変化およびクラブ・サークル活動、大学祭など正課外のキャンパスライフおよびイベントへの関心度を探る「課外活動に関する実態調査」を実施、また96年度は大学への登校時刻・出席コマ数から食事のとり方、趣味・嗜好品、悩み事までにいたる「個人生活」について実施した。各々の調査結果は「下宿物件の開拓」「奨学金制度の改革」「学生福利厚生等施設の建設」などに生かされたほか、「自由回答」にある様々な「声」を大学として責任をもって受け止め、それに応える機関としての「わたしの提案箱（A.C.C）制度」の実施（1998年度から発足）など、学生サービス諸施策の立案や制度改革に取り組み、一定の成果を上げてきた。

それから二十数年が経過した現在、課外活動分野の調査のみならず、学生生活における正課活動の「位置づけ」から個々の諸活動にまで項目を掘り下げ、本学学生をとりまくすべての環境と動向について調査を行った。

■調査の概要

○目的：学生サービスの更なる充実、自己評価の指針とするため

○調査期間：2022年12月23日（金）～2023年1月17日（火）

○調査方法：M-Portのアンケート機能を使用。

○調査対象：学部学生5,927名（和泉キャンパスのみ）

○有効回答者数：1,934名（回答率：32.6%）

○表記方法：各設問の回答結果を視覚的に把握できるよう、択一式の設問は円グラフにより割合を、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示した。

1 学業について

大学生生活の満足度

資格課程

進路

2 課外活動について

クラブ・サークルへの加入状況

クラブ・サークルの満足度

ボランティア活動

SDGsの認知度

3 経済・生活状況について

学費

奨学金

奨学金の必要度

コロナ禍における必要な支援

現在の住居

アルバイト

スマートフォン（利用頻度や料金）

4 読書について

本学図書館の利用状況

読書に要する費用（1 ヶ月）

読書量（1 ヶ月）

読書に費やす時間（1 日）

5 悩み・健康について

現在の関心事

現在の悩み

困ったとき、悩んだ時の相談相手

日頃のストレス

日頃の健康

健康についての気遣い

飲酒

喫煙

睡眠時間

食生活

朝食

大学の食堂及び購買施設

昼食

学生同士の交流

大学の施設

6 情報関連について

パソコン保有状況

パソコンの主たる利用目的

Webサイト、SNSの利用

本学Webサイト、SNS、M-portの利用頻度

DXの認知度

本学からの情報

本学から送信されるメール

M-Port

Campus Guide

情報の確認手段

7 自由記述について

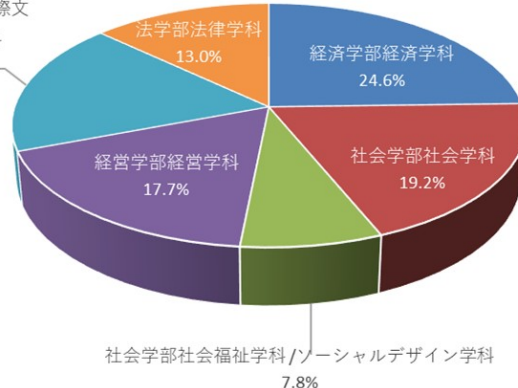
大学に対する要望

回答者の基礎資料（フェイス）

○所属する学部・学科

	所属する学部・学科	人数	割合
1	経済学部経済学科	475	24.6%
2	社会学部社会学科	372	19.2%
3	社会学部社会福祉学科 / ソーシャルデザイン学科	150	7.8%
4	経営学部経営学科	342	17.7%
5	国際教養学部英語・国際文化学科	343	17.7%
6	法学部法律学科	252	13.0%
	合計	1,934	100.0%

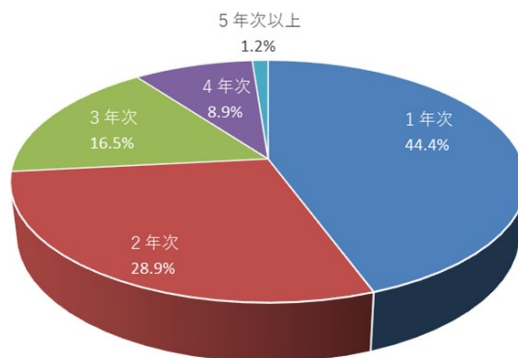
国際教養学部
英語・国際文
化学科



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

○年次

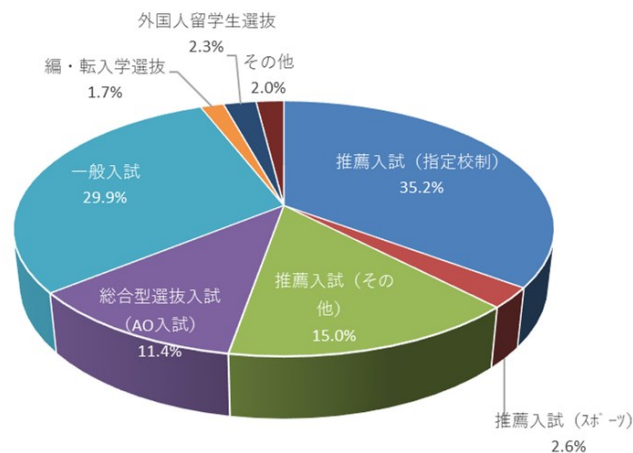
	年次	人数	割合
1	1年次	859	44.4%
2	2年次	559	28.9%
3	3年次	320	16.5%
4	4年次	173	8.9%
5	5年次以上	23	1.2%
	合計	1,934	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

○入試制度

	入試制度	人数	割合
1	推薦入試（指定校制）	680	35.2%
2	推薦入試（スポーツ）	50	2.6%
3	推薦入試（その他）	290	15.0%
4	総合型選抜入試（AO入試）	221	11.4%
5	一般入試	578	29.9%
6	編・転入学選抜	32	1.7%
7	外国人留学生選抜	45	2.3%
8	その他	38	2.0%
	合計	1,934	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

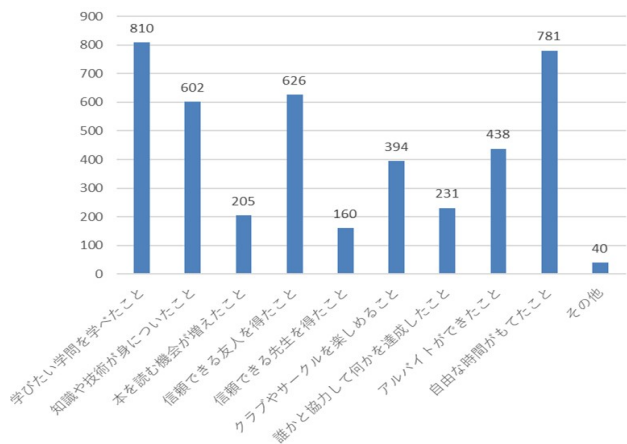
学業について

Q.1 本学に入ってよかったと思ったことは？ ※複数回答可

2022年度アンケートより新たに設問を設置。「学びたい学問を学べたこと」については、回答者数の割合でみると半

数近くの41.8%となる。また、「自由な時間をもてたこと」も同じくらいの割合を示している。

	本学に入ってよかったと思うことは	人数	割合
1	学びたい学問を学べたこと	810	41.9%
2	知識や技術が身についたこと	602	31.1%
3	本を読む機会が増えたこと	205	10.6%
4	信頼できる友人を得たこと	626	32.4%
5	信頼できる先生を得たこと	160	8.3%
6	クラブやサークルを楽しむこと	394	20.4%
7	誰かと協力して何かを達成したこと	231	11.9%
8	アルバイトができたこと	438	22.6%
9	自由な時間をもてたこと	781	40.4%
10	その他	40	2.1%
	合計	4,287	-



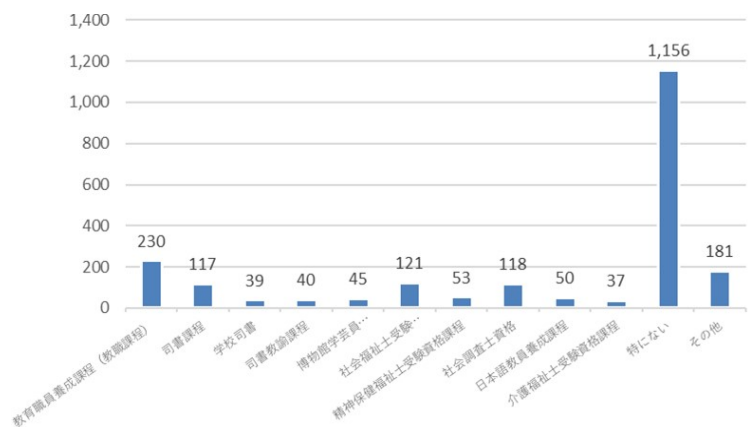
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.2 本学で取得したい資格課程は？ ※複数回答可

2022年度調査より、複数回答可とした。前回同様「特にない」が半数以上を占めるという結果となった。それ以外の選択肢においては前回調査時よりすべて微増。なお、年々割

合が減少傾向にあった「司書課程」も2.0ポイント増加した。

	本学で取得したい資格課程は？	人数	割合
1	教育職員養成課程（教職課程）	230	11.9%
2	司書課程	117	6.0%
3	学校司書	39	2.0%
4	司書教諭課程	40	2.1%
5	博物館学芸員課程	45	2.3%
6	社会福祉士受験資格課程	121	6.3%
7	精神保健福祉士受験資格課程	53	2.7%
8	社会調査士資格	118	6.1%
9	日本語教員養成課程	50	2.6%
10	介護福祉士受験資格課程	37	1.9%
11	特にない	1,156	59.8%
12	その他	181	9.4%
	合計	2,187	-



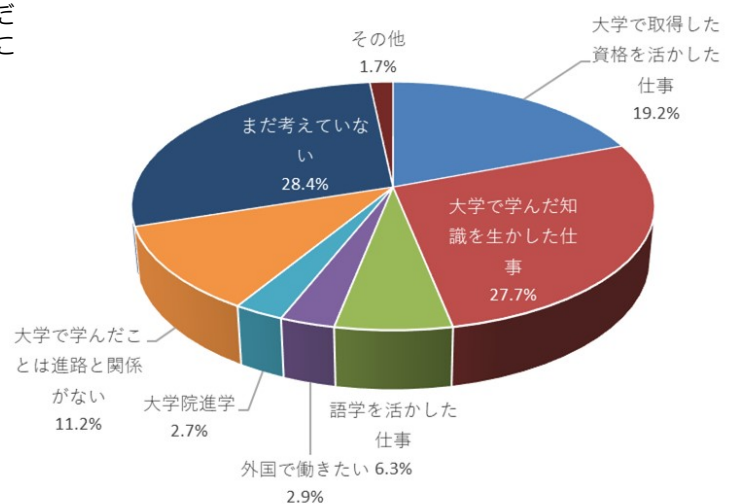
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.3 卒業後の進路希望は？

2022年度より選択肢を「職種」から「スキル」に変更した。「大学で取得した資格を活かした仕事」「大学で学んだ知識を生かした」の割合が半数近くを占め、自己スキルに

あった進路を希望しているものとみられる。

	卒業後の進路希望は？	人数	割合
1	大学で取得した資格を活かした仕事	371	19.2%
2	大学で学んだ知識を生かした仕事	535	27.7%
3	語学を活かした仕事	121	6.3%
4	外国で働きたい	57	2.9%
5	大学院進学	52	2.7%
6	大学で学んだことは進路と関係がない	217	11.2%
7	まだ考えていない	549	28.4%
8	その他	32	1.7%
	合計	1,934	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

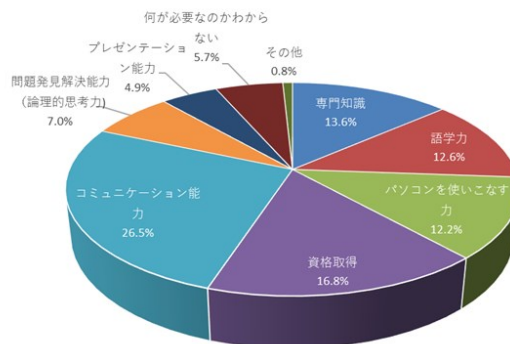
学業について

Q.4 自分の進路のために一番身につけたいものは？

前回調査時に比べ、「パソコンを使いこなす力」（前は「情報処理技術」）が7.4ポイント増加した。コミュニケーション能力が3.0ポイント減少したが、他のスキルと比較す

ると、依然として必要性を感じる学生が多いことがうかがえる。「プレゼンテーション能力」「何が必要かわからない」は2022年度調査より選択肢に追加した。

	自分の進路のために 一番身につけたいものは？	人数	割合
1	専門知識	263	13.6%
2	語学力	243	12.6%
3	パソコンを使いこなす力	235	12.2%
4	資格取得	324	16.8%
5	コミュニケーション能力	512	26.5%
6	問題発見解決能力（論理的思考力）	136	7.0%
7	プレゼンテーション能力	94	4.9%
8	何が必要かわからない	111	5.7%
9	その他	16	0.8%
	合計	1,934	100.0%



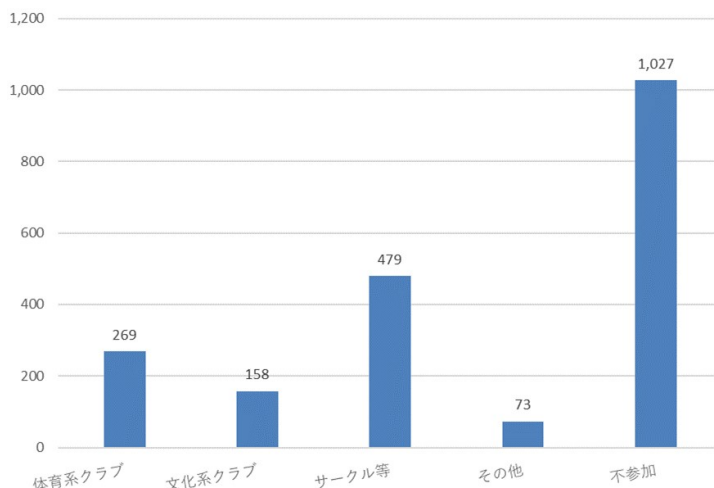
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

課外活動について

Q.5 所属している団体は？ ※複数回答可

1～4の選択肢全てにおいて増加傾向にあり、「サークル等」への所属は5.0ポイント上昇するなど、各団体に加入する割合としては8.1ポイント上昇した。

	所属している団体は？	人数	割合
1	体育系クラブ	269	13.9%
2	文化系クラブ	158	8.2%
3	サークル等	479	24.8%
4	その他	73	3.8%
5	不参加	1,027	53.1%
	合計	2,006	-



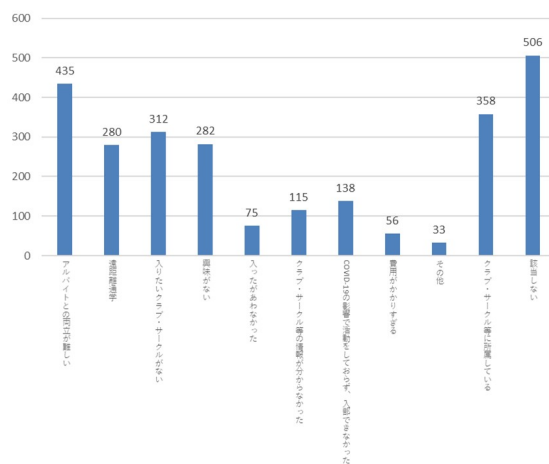
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.6 不参加の理由は？ ※複数回答可

今回は複数回答とした。「アルバイトとの両立が難しい」は10.8ポイント、「遠距離通学」6.5ポイント増加した。「費用がかかりすぎる」「該当しない」を2022年度より追

加した。「途中から入部・参加に抵抗がある」や「コロナ禍によって入る機会を逃した」という意見もあり、いまだにCOVID-19の影響が垣間見える。

	不参加の理由は？	人数	割合
1	アルバイトとの両立が難しい	435	22.5%
2	遠距離通学	280	14.5%
3	入りたいクラブ・サークルがない	312	16.1%
4	興味がない	282	14.6%
5	入ったがあわなかった	75	3.9%
6	クラブ・サークル等の情報が分からなかった	115	5.9%
7	COVID-19の影響で活動をしておらず、入部できなかった	138	7.1%
8	費用がかかりすぎる	56	2.9%
9	その他	33	1.7%
10	クラブ・サークル等に所属している	358	18.5%
11	該当しない	506	26.2%
	合計	2,590	-



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

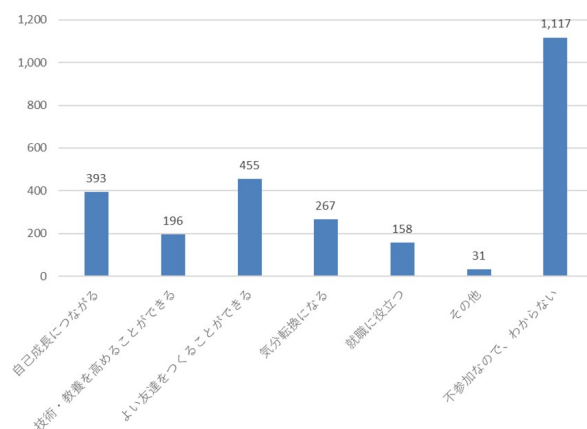
課外活動について

Q.7 クラブ活動に参加してよかったことは？ ※複数回答可

前回までの調査と同様、参加している学生については、活動自体から得られる能力向上よりも「よい友達をつくることができる」「自己成長につながる（今回は「人格形成に役立っている」）」などの副次的効果に満足を感じる学生が多い結

果となった。2022年度より、「勉強の合間の気休めである」から「気分転換になる」へ変更、「就職に役立つ」を追加した。

	クラブ活動に参加してよかったことは？	人数	割合
1	自己成長につながる	393	20.3%
2	技術・教養を高めることができる	196	10.1%
3	よい友達をつくることができる	455	23.5%
4	気分転換になる	267	13.8%
5	就職に役立つ	158	8.2%
6	その他	31	1.6%
7	不参加なので、わからない	1,117	57.8%
	合計	2,617	-



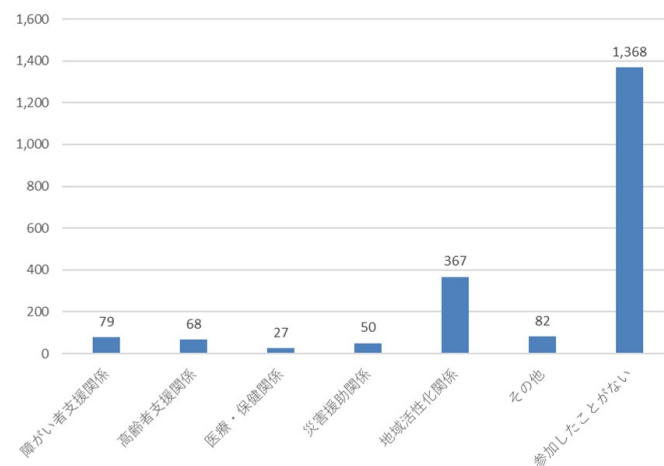
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.8 今までにどのようなボランティア活動に参加しましたか？ ※複数回答可

参加経験「あり」の中では、「地域活性化関係」のボランティア活動が上位となった。一方「参加したことがない」学生が約7割近くを占め、前回調査より13.2ポイント増加し

た。少からずともCOVID-19による影響を受けたものと考ええる。

	今までにどのようなボランティア活動に参加しましたか？	人数	割合
1	障がい者支援関係	79	4.1%
2	高齢者支援関係	68	3.5%
3	医療・保健関係	27	1.4%
4	災害援助関係	50	2.6%
5	地域活性化関係	367	19.0%
6	その他	82	4.2%
7	参加したことがない	1,368	70.7%
	合計	2,041	-



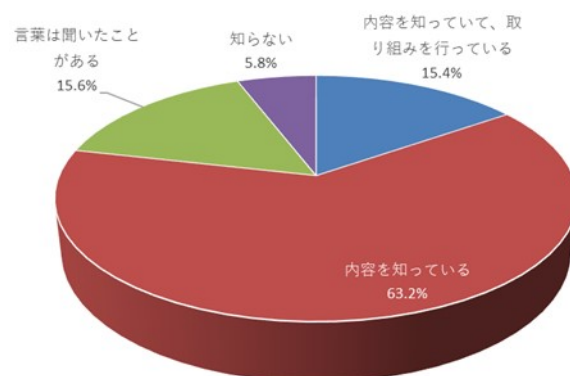
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.9 SDGsについて知っていますか？

2022年度に新たに設問を追加。エスディー・エスエス・エスエスとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」をさします。「内容を知っていて、取り組みを行っている」「内

容を知っている」が78.6%で、意識として浸透していることがわかる。

	SDGsについて知っていますか？	人数	割合
1	内容を知っていて、取り組みを行っている	297	15.4%
2	内容を知っている	1,222	63.2%
3	言葉は聞いたことがある	302	15.6%
4	知らない	113	5.8%
	合計	1,934	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

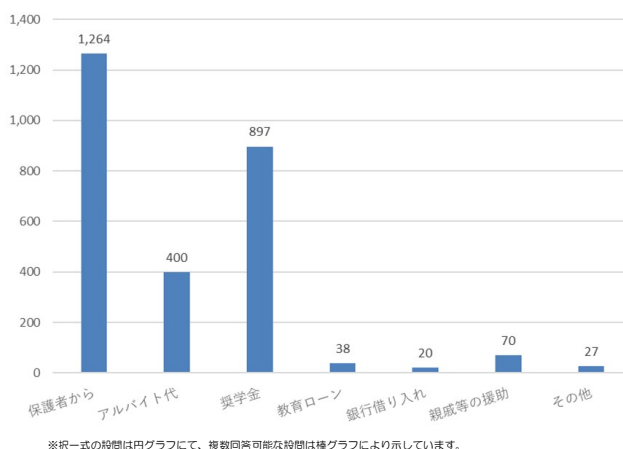
経済・生活状況について

Q.10 学費納入手段として主に考えているものは？ ※複数回答可

学費支弁の手段として「奨学金」の割合が年々増加しており、2008年調査結果では24.4%であったが、今回調査では46.4%となった。加えて、「アルバイト代」の割合が前回

調査より8.7ポイント増でほぼ倍増となった。反対に「保護者から」の割合は今回調査では65.4%と年々減少傾向にあるが、依然として大きな割合を占める。

	学費納入手段として主に考えているものは？	人数	割合
1	保護者から	1,264	65.4%
2	アルバイト代	400	20.7%
3	奨学金	897	46.4%
4	教育ローン	38	2.0%
5	銀行借入れ	20	1.0%
6	親戚等の援助	70	3.6%
7	その他	27	1.4%
	合計	2,716	-

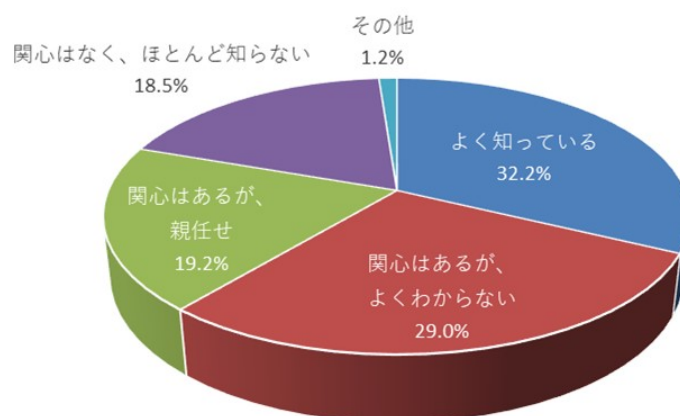


Q.11 本学の奨学金制度を知っていますか？

前回調査時に引き続き「関心はなく、ほとんど知らない」の割合が減少し、「よく知っている」は8.7ポイント増加した。全体的に奨学金制度への関心が高いことがうかがえる。

また、「関心はあるが、よくわからない」の割合は前回より3.4ポイント減少したものの、今後も大学としてよりわかりやすい説明や情報発信を行う必要がある。

	本学の奨学金制度を知っていますか？	人数	割合
1	よく知っている	622	32.2%
2	関心はあるが、よくわからない	560	29.0%
3	関心はあるが、親任せ	372	19.2%
4	関心はなく、ほとんど知らない	357	18.5%
5	その他	23	1.2%
	合計	1,934	100.0%

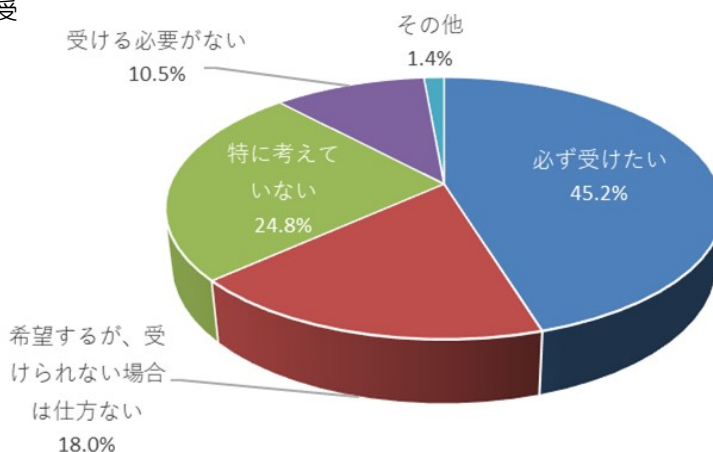


Q.12 奨学金の必要度は？

奨学金については「必ず受きたい」の割合が高いのが特徴である。昨今の経済事情もありQ.8の学費納入手段の「保護者から」の回答が減っていることもあり、奨学金を「必ず受

けたい」という回答が高い割合となっていると考えられる。

	奨学金の必要度は？	人数	割合
1	必ず受きたい	875	45.2%
2	希望するが、受けられない場合は仕方	349	18.0%
3	特に考えていない	479	24.8%
4	受ける必要がない	204	10.5%
5	その他	27	1.4%
	合計	1,934	100.0%



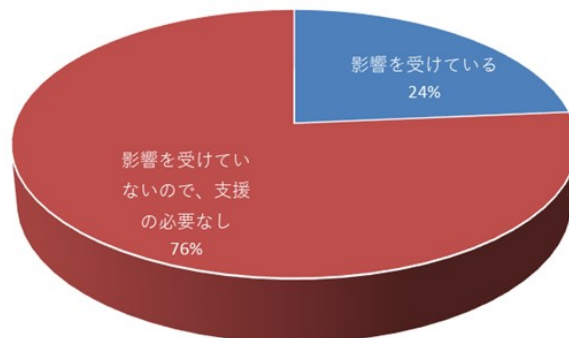
経済・生活状況について

Q.13 学生生活にコロナ禍の影響を受けている場合、必要だと思う支援を記入してください。

2022年度新設。「影響を受けている」が24%を占め、決して少なくない数字である。経済的な支援のほかに、メン

タルケアやコミュニティ形成へのフォローを必要とする意見もあった。

	学生生活にコロナ禍の影響を受けている場合、必要だと思う支援を記入してください。	人数	割合
1	影響を受けている	457	24%
2	影響を受けていないので、支援の必要なし	1,477	76%
	合計	1,934	100.0%



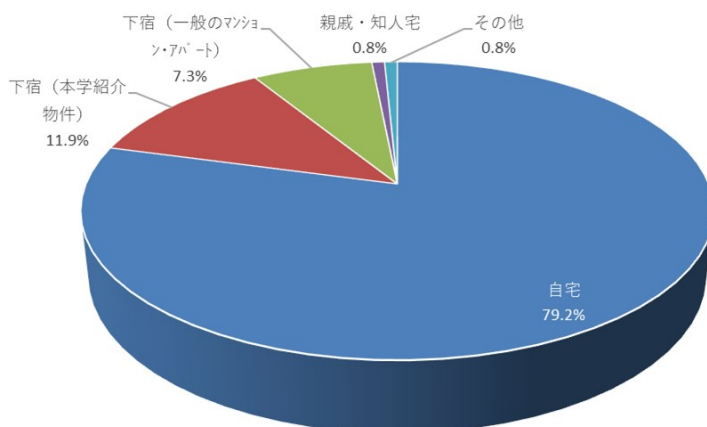
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.14 現在の住居は？

主に経済的理由という要因が推測され、下宿学生は近年減少傾向にあったが、前回調査時に引き続き増加傾向に転じて

いる。「下宿（本学紹介物件）」「下宿（一般のマンション・アパート・文化住宅）」を合わせて0.8ポイント上昇した。

	現在の住居は？	人数	割合
1	自宅	1,532	79.2%
2	下宿（本学紹介物件）	231	11.9%
3	下宿（一般のマンション・アパート）	141	7.3%
4	親戚・知人宅	15	0.8%
5	その他	15	0.8%
	合計	1,934	100.0%



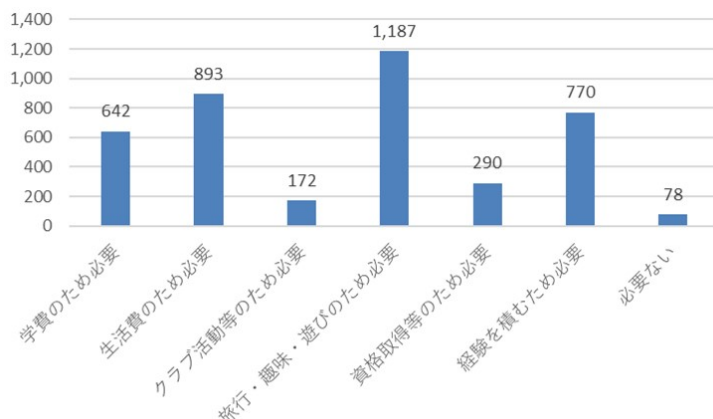
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.15 アルバイトは必要？ ※複数回答可

アルバイトについては年々回答件数に対する「学費のため必要」の割合が増加傾向にあるが、前回より2.7ポイント減少した。なお、「生活費のため必要」が9.5ポイント増加し

ており、学生の厳しい経済事情が伺える。ただし、過度なアルバイトは学業に支障をきたす恐れがあり、注意が必要である。

	アルバイトは必要？	人数	割合
1	学費のため必要	642	33.2%
2	生活費のため必要	893	46.2%
3	クラブ活動等のため必要	172	8.9%
4	旅行・趣味・遊びのため必要	1,187	61.4%
5	資格取得等のため必要	290	15.0%
6	経験を積むため必要	770	39.8%
7	必要ない	78	4.0%
	合計	4,032	-



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

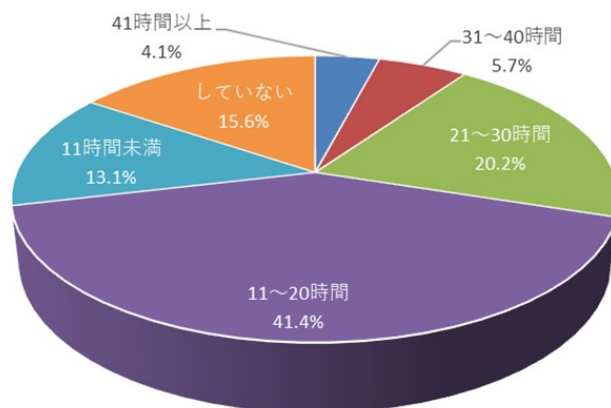
経済・生活状況について

Q.16 1週間のアルバイト時間は？

週30時間未満が半数以上の割合を占め、前回調査と概ね同程度の割合で推移している。なお、週30時間超の学生も

9.8%と一定数存在し、学業への支障が懸念され注意が必要である。

	1週間のアルバイト時間は？	人数	割合
1	41時間以上	79	4.1%
2	31～40時間	110	5.7%
3	21～30時間	390	20.2%
4	11～20時間	800	41.4%
5	11時間未満	254	13.1%
6	していない	301	15.6%
	合計	1,934	100.0%



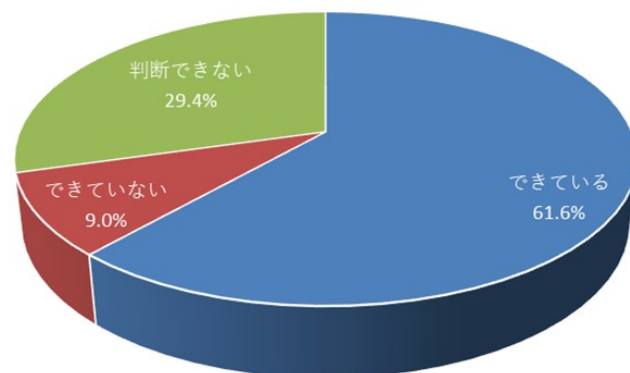
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.17 学業とアルバイトの両立ができていますか？

両立ができていない学生が半数を超える結果となった。一方、両立できていない学生は前回より1.8ポイント上昇した。「Q.13」にて長時間アルバイトを行う学生がいたが、

過度なアルバイトには注意が必要である。

	学業とアルバイトの両立ができていますか？	人数	割合
1	できている	1,191	61.6%
2	できていない	174	9.0%
3	判断できない	569	29.4%
	合計	1,934	100.0%



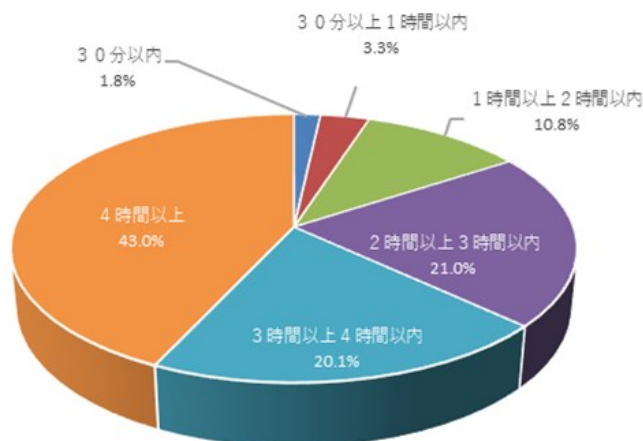
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.18 1日のスマートフォンの利用時間(通話時間やメール作成などを含む)は？

スマートフォンの利用時間は「4時間以上」が約4割を占め、概ね前回と同程度の割合で推移している。スマートフォンの利用はアプリや動画視聴のみでなく、スケジュール管理

や体調管理など日常生活に密着しており、年々増加傾向にあるのはやむを得ない。

	1日のスマートフォンの利用時間(通話時間やメール作成などを含む)は？	人数	割合
1	30分以内	34	1.8%
2	30分以上1時間以内	63	3.3%
3	1時間以上2時間以内	209	10.8%
4	2時間以上3時間以内	407	21.0%
5	3時間以上4時間以内	389	20.1%
6	4時間以上	832	43.0%
	合計	1,934	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

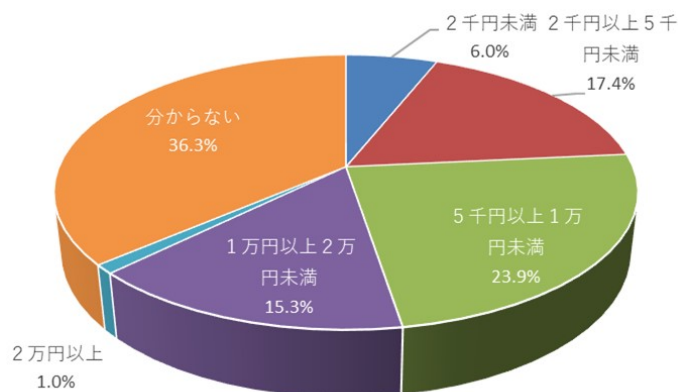
経済・生活状況について

Q.19 1ヶ月のスマートフォンの利用料金は？

利用料金については、「わからない」が約3割で前回より3.8ポイント増加した。料金を意識せず利用している学生が

多くいることがわかった。また、前回に引き続き「5千円以上1万円未満」の利用者が一番多い結果となった。

	1ヶ月のスマートフォンの利用料金は？	人数	割合
1	2千円未満	117	6.0%
2	2千円以上5千円未満	337	17.4%
3	5千円以上1万円未満	463	23.9%
4	1万円以上2万円未満	295	15.3%
5	2万円以上	20	1.0%
6	分からない	702	36.3%
	合計	1,934	100.0%



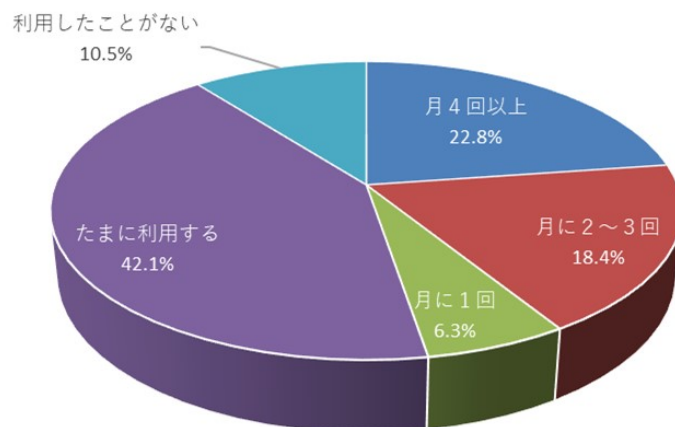
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

読書について

Q.20 本学図書館の利用は？

「月に4回以上」の項目が前回は前々回より大幅に減少したが、今回は14.9ポイント上昇した。前回と比較し、全体的に利用頻度が増加した。

	本学図書館の利用は？	人数	割合
1	月4回以上	440	22.8%
2	月に2～3回	355	18.4%
3	月に1回	121	6.3%
4	たまに利用する	814	42.1%
5	利用したことがない	204	10.5%
	合計	1,934	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

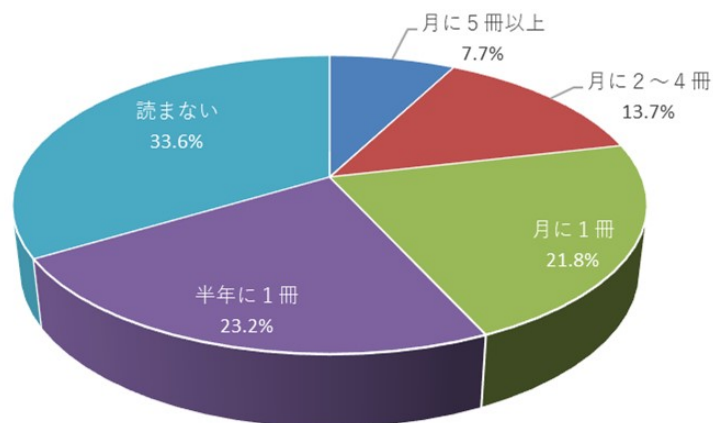
Q.21 本(電子書籍を含む。雑誌、マンガは除く)をどのくらい読みますか？

今回調査では「読まない」の項目が5.7ポイント上昇し、本を読むペースに関しては、全体的に減少傾向となった。

しも読書量と連動しないようだ。

Q.20の図書館の利用頻度は前回より上昇しているが、必ず

	本(電子書籍を含む。雑誌、マンガは除く)	人数	割合
1	月に5冊以上	148	7.7%
2	月に2～4冊	265	13.7%
3	月に1冊	422	21.8%
4	半年に1冊	449	23.2%
5	読まない	650	33.6%
	合計	1,934	100.0%



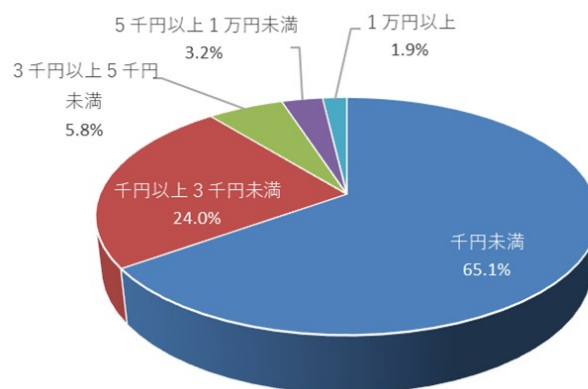
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

読書について

Q.22 読書に要する費用は？(1ヶ月)

前回に引き続き「千円未満」が1.5ポイント減少した。一方で「千円以上」読書に要する割合はそれぞれ微増した。

	読書に要する費用は？(1ヶ月)	人数	割合
1	千円未満	1,260	65.1%
2	千円以上3千円未満	464	24.0%
3	3千円以上5千円未満	113	5.8%
4	5千円以上1万円未満	61	3.2%
5	1万円以上	36	1.9%
	合計	1,934	100.0%

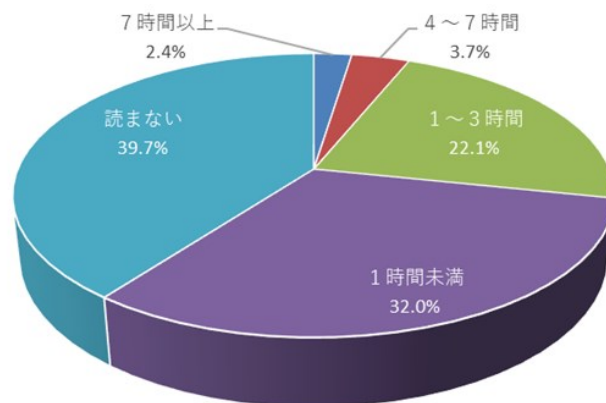


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.23 読書に費やす時間は？(1日)

読書に費やす時間については、前回調査時より「7時間以上」が1.0ポイント上昇したが、それ以外はそれぞれ減少傾向となり、「全く読まない」も前回より3.5ポイント減少した。

	読書に費やす時間は？(1日)	人数	割合
1	7時間以上	47	2.4%
2	4～7時間	72	3.7%
3	1～3時間	428	22.1%
4	1時間未満	619	32.0%
5	読まない	768	39.7%
	合計	1,934	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

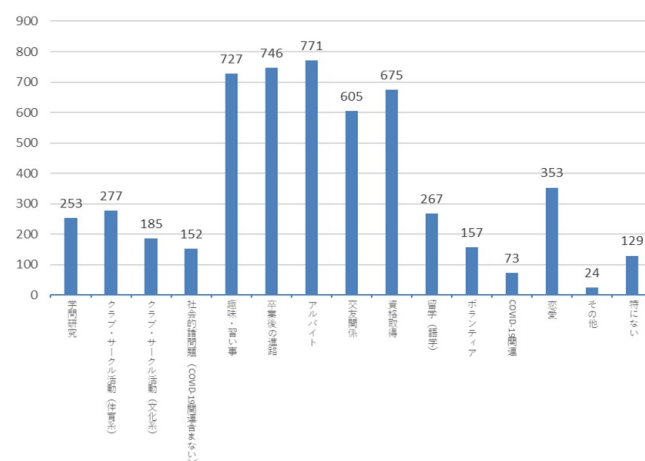
悩み・健康・食生活について

Q.24 現在の関心事は？ ※複数回答可

現在の関心事については、前回調査までと同様に「卒業後の進路」「アルバイト」「交友関係」「資格取得」「趣味・習い事」が同程度の割合となった。前回より「COVID-

19関連」は15.6ポイント減少した。また、今回から「趣味・習い事」「恋愛」を選択しに加した。

	現在の関心事は？※複数回答可	人数	割合
1	学問研究	253	13.1%
2	クラブ・サークル活動(体育系)	277	14.3%
3	クラブ・サークル活動(文化系)	185	9.6%
4	社会的諸問題 (COVID-19関連含まない)	152	7.9%
5	趣味・習い事	727	37.6%
6	卒業後の進路	746	38.6%
7	アルバイト	771	39.9%
8	交友関係	605	31.3%
9	資格取得	675	34.9%
10	留学(語学)	267	13.8%
11	ボランティア	157	8.1%
12	COVID-19関連	73	3.8%
13	恋愛	353	18.3%
14	その他	24	1.2%
15	特になし	129	6.7%
	合計	5,394	-

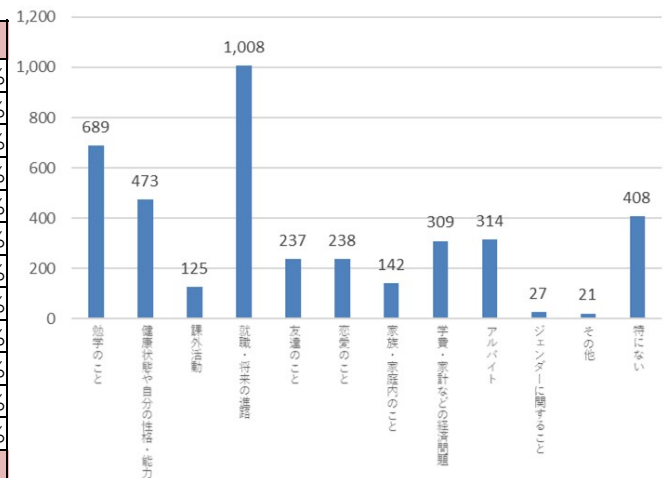


Q.25 現在の(COVID-19に関連しない)悩みは？ ※複数回答可

「就職・将来の進路」の回答数が最も多くなった。続いて「勉強のこと」の回答が多くなっている。また、「健康状態や自分の性格・能力」についても多数回答が寄せられた。な

お、今回より「課外活動」「アルバイト」「ジェンダーに関すること」を選択肢に追加した。

	現在の(COVID-19に関連しない)悩みは？	人数	割合
1	勉強のこと	689	35.6%
2	健康状態や自分の性格・能力	473	24.5%
3	課外活動	125	6.5%
4	就職・将来の進路	1,008	52.1%
5	友達のこと	237	12.3%
6	恋愛のこと	238	12.3%
7	家族・家庭内のこと	142	7.3%
8	学費・家計などの経済問題	309	16.0%
9	アルバイト	314	16.2%
10	ジェンダーに関すること	27	1.4%
11	その他	21	1.1%
12	特になし	408	21.1%
	合計	3,991	-



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.26 COVID-19に関連した悩みがあれば、記入してください。

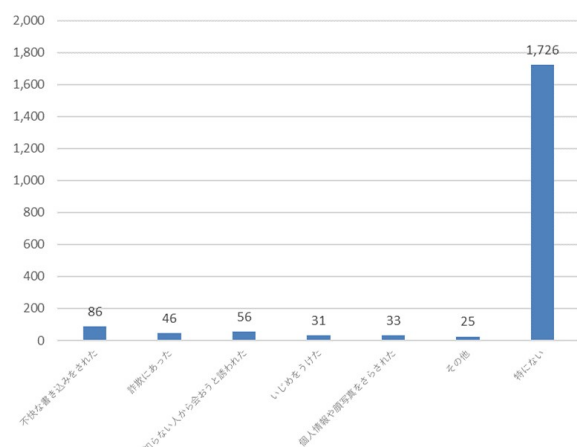
以下のような回答があった。

- ・思い描いた学生生活が十分でなかったのが残念。
- ・入学時に友達を作る機会がなくなってしまった。
- ・対面授業であれば、出会えた人ももっと今より多かったのではないかな

Q.27 SNSのトラブルに巻きこまれたことはありますか？ ※複数回答可

2022年度新設。「特になし」が大半を占めるが、トラブルに巻き込まれたとの回答総数が約1割程度あった。

	SNSのトラブルに巻きこまれたことはありますか？	人数	割合
1	不快な書き込みをされた	86	4.4%
2	詐欺にあった	46	2.4%
3	知らない人から会おうと誘われた	56	2.9%
4	いじめをうけた	31	1.6%
5	個人情報や顔写真をさらされた	33	1.7%
6	その他	25	1.3%
7	特になし	1,726	89.2%
	合計	2,003	-



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

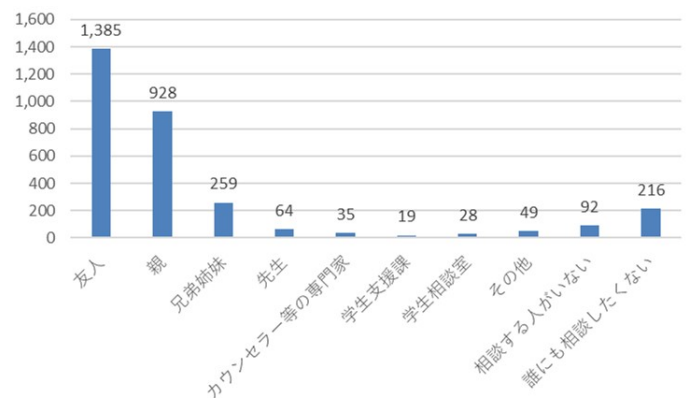
悩み・健康・食生活について

Q.28 プライベートなことで悩んだ時の相談相手は？ ※複数回答可

2022年度新設。「友人」が最も多く、「親」が続くという結果となった。なお、「自分にとって深刻な悩みほど誰に

も相談したくない」「SNSで同じ悩みを抱えている人の投稿を見る」などの意見もあった。

	プライベートなことで悩んだ時の相談相手は？	人数	割合
1	友人	1,385	71.6%
2	親	928	48.0%
3	兄弟姉妹	259	13.4%
4	先生	64	3.3%
5	カウンセラー等の専門家	35	1.8%
6	学生支援課	19	1.0%
7	学生相談室	28	1.4%
8	その他	49	2.5%
9	相談する人がいない	92	4.8%
10	誰にも相談したくない	216	11.2%
	合計	3,075	-



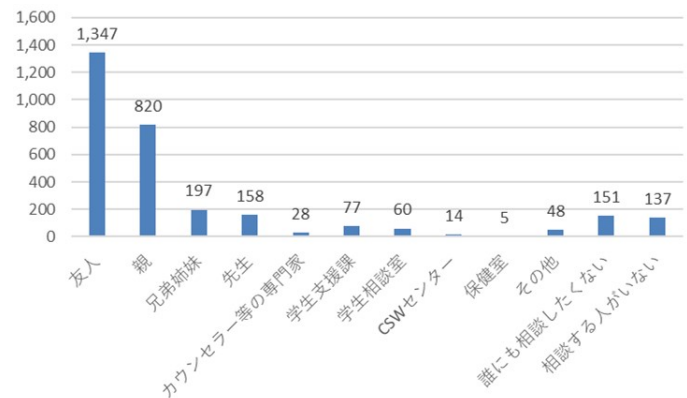
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.29 学内のトラブルで悩んだときの相談相手は？ ※複数回答可

2022年度新設。Q.28同様、「友人」が最も多く、「親」が続くという結果となった。本学では学生相談室の設置をはじめ、「桃山学院大学健康相談24」などの電話によ

る健康・メンタル相談を24時間行えるようにするなど、学生相談の体制を周知していく必要がある。

	学内のトラブルで悩んだときの相談相手は？	人数	割合
1	友人	1,347	69.6%
2	親	820	42.4%
3	兄弟姉妹	197	10.2%
4	先生	158	8.2%
5	カウンセラー等の専門家	28	1.4%
6	学生支援課	77	4.0%
7	学生相談室	60	3.1%
8	CSWセンター	14	0.7%
9	保健室	5	0.3%
10	その他	48	2.5%
11	誰にも相談したくない	151	7.8%
12	相談する人がいない	137	7.1%
	合計	3,042	-

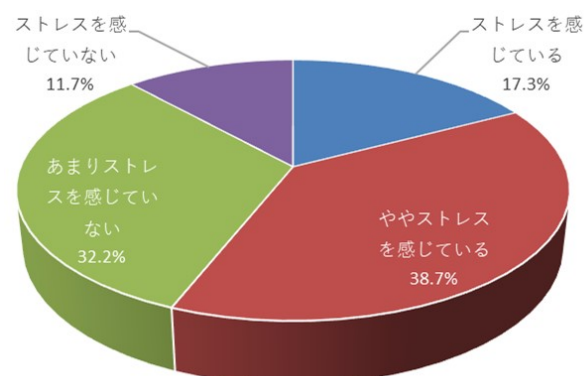


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.30 日頃のストレスはどれくらい感じていますか？

前回調査より「ストレスを感じている」が7.7ポイント、「ややストレスを感じている」が0.6ポイント減少したが、合計で56%と高い割合を占めている。

	日頃のストレスはどれくらい感じていますか？	人数	割合
1	ストレスを感じている	335	17.3%
2	ややストレスを感じている	749	38.7%
3	あまりストレスを感じていない	623	32.2%
4	ストレスを感じていない	227	11.7%
	合計	1,934	100.0%



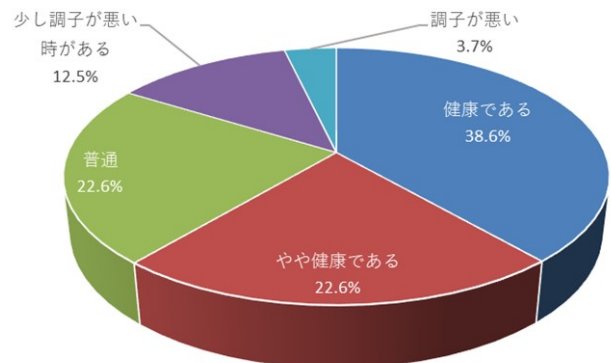
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

悩み・健康・食生活について

Q.31 日頃の健康はどうか？

前回より「健康である」が8.1ポイント減少したが、「やや健康である」、「普通」と合計すると、8割以上の学生は健康上、特に問題はないと捉えているようである。

	日頃の健康はどうか？	人数	割合
1	健康である	746	38.6%
2	やや健康である	437	22.6%
3	普通	438	22.6%
4	少し調子が悪い時がある	242	12.5%
5	調子が悪い	71	3.7%
	合計	1,934	100.0%

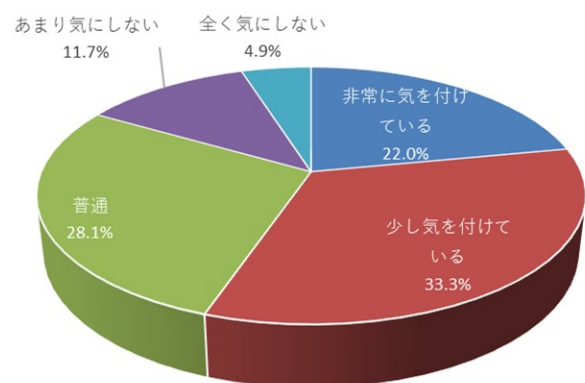


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.32 健康に気を付けていますか？

「非常に気を付けている」「少し気を付けている」が若干減少傾向にあるが、前回とほぼ同程度の割合で推移している。

	健康に気を付けていますか？	人数	割合
1	非常に気を付けている	425	22.0%
2	少し気を付けている	644	33.3%
3	普通	543	28.1%
4	あまり気にしない	227	11.7%
5	全く気にしない	95	4.9%
	合計	1,934	100.0%

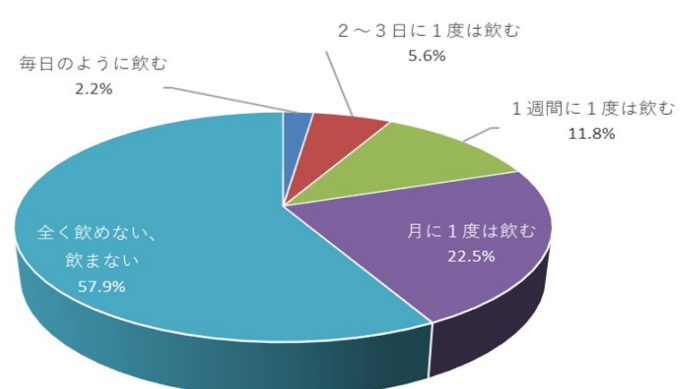


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.33 飲酒をしますか？

「月に一度は飲む」、「全く飲めない、飲まない」の割合が8割以上を占め、日常的に飲酒を行う学生は少ないことが分かる。

	飲酒をしますか？	人数	割合
1	毎日のように飲む	42	2.2%
2	2～3日に1度は飲む	109	5.6%
3	1週間に1度は飲む	228	11.8%
4	月に1度は飲む	436	22.5%
5	全く飲めない、飲まない	1,119	57.9%
	合計	1,934	100.0%

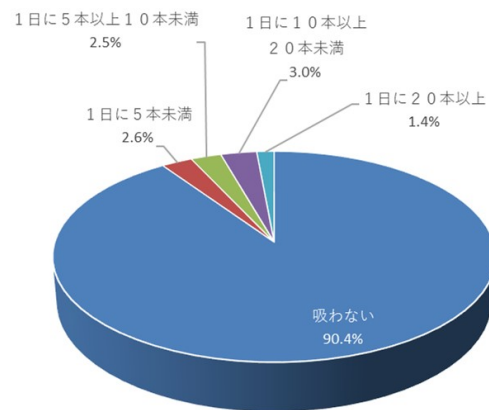


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.34 タバコを吸いますか？

前回の調査と比較してほぼ同程度の割合で推移しているが、「1日に10本以上20本未満」が0.7ポイント、「1日に20本以上」が1.0ポイント増加した。

	タバコを吸いますか？	人数	割合
1	吸わない	1,749	90.4%
2	1日に5本未満	50	2.6%
3	1日に5本以上10本未満	49	2.5%
4	1日に10本以上20本未満	58	3.0%
5	1日に20本以上	28	1.4%
	合計	1,934	100.0%

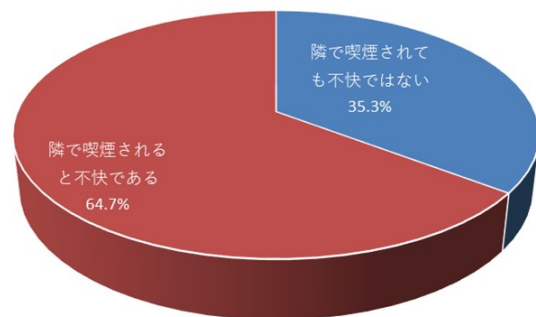


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.35 タバコを吸われるとどう感じますか？

本設問も前回調査とほぼ同じで、「隣で喫煙されて不快である」が64.7%と大半を占めた。

	タバコを吸われるとどう感じますか？	人数	割合
1	隣で喫煙されても不快ではない	683	35.3%
2	隣で喫煙されると不快である	1,251	64.7%
	合計	1,934	100.0%

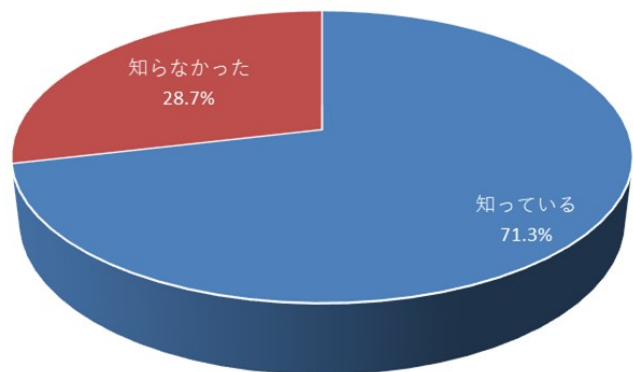


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.36 2020年度からキャンパス内全面禁煙になっていることを知っていますか？

2022年度新設。概ね「知っている」と回答があったが、「知らなかった」も28.7%を占めた。引き続き周知を行っていく必要がある。

	2020年度からキャンパス内全面禁煙	人数	割合
1	知っている	1,379	71.3%
2	知らなかった	555	28.7%
	合計	1,934	100.0%

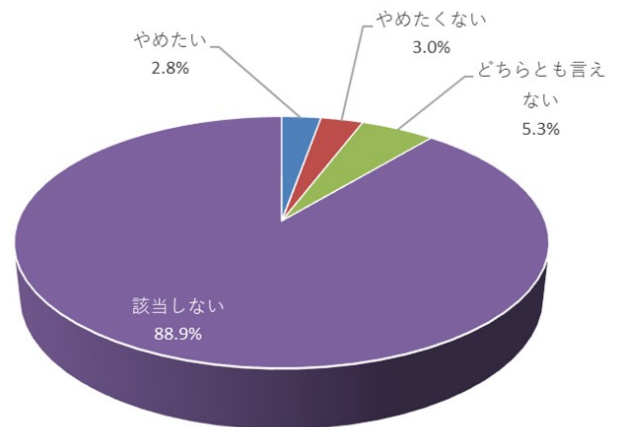


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.37 【喫煙者の方へ】喫煙をやめたいと思いますか？

喫煙者の中では、「どちらとも言えない」と答えた学生が一番多かったが、前回に引き続き同程度の割合で推移している。

	【喫煙者の方へ】喫煙をやめたいと思います	人数	割合
1	やめたい	54	2.8%
2	やめたくない	58	3.0%
3	どちらとも言えない	102	5.3%
4	該当しない	1,720	88.9%
	合計	1,934	100.0%



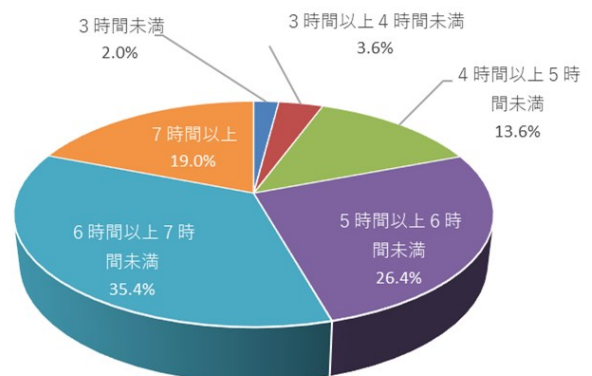
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.38 睡眠時間は？

前回調査時より「7時間以上」が12.8ポイント減少した。「4時間以上5時間未満」が5.3ポイント、「5時間以上6時間未満」が4.4ポイント上昇した。厚生労働省の調査によると、成人の睡眠時間は6時間以上～8時間未満がボリューム

ゾーンであり、約5割の人がここに属しているという。

	睡眠時間は？	人数	割合
1	3時間未満	39	2.0%
2	3時間以上4時間未満	69	3.6%
3	4時間以上5時間未満	263	13.6%
4	5時間以上6時間未満	511	26.4%
5	6時間以上7時間未満	684	35.4%
6	7時間以上	368	19.0%
	合計	1,934	100.0%



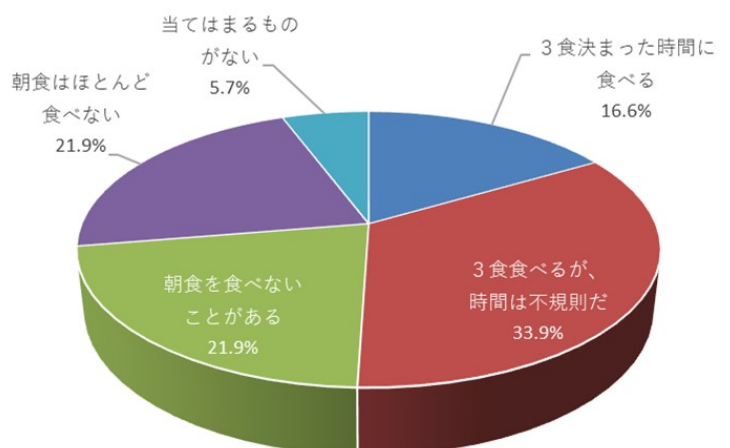
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.39 食生活について1番当てはまるものは？

これも前回調査時までと同様に「3食食べるが、時間は不規則だ」の割合が33.9%と最も高かった。前回調査と比較

して、それぞれ同程度の割合で推移している。

	食生活について1番当てはまるものは？	人数	割合
1	3食決まった時間に食べる	321	16.6%
2	3食食べるが、時間は不規則だ	656	33.9%
3	朝食を食べないことがある	423	21.9%
4	朝食はほとんど食べない	423	21.9%
5	当てはまるものがない	111	5.7%
	合計	1,934	100.0%

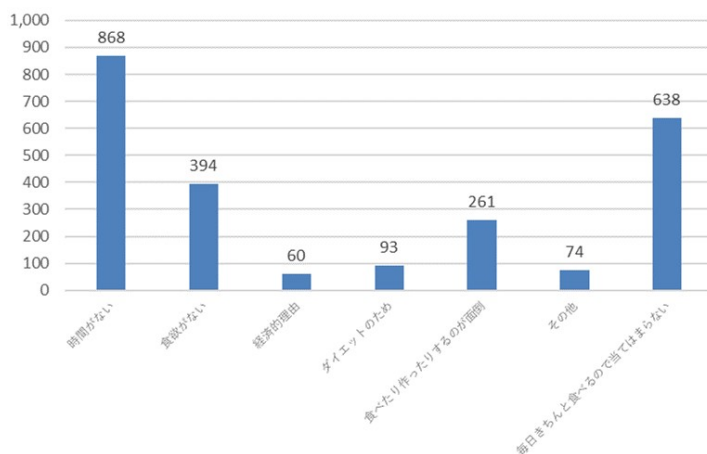


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.40 朝食を食べないことがある場合、その理由は？ ※複数回答可

朝食を食べないことがある場合の理由については、前回までと同様に「時間がない」を選択する学生が最も多かった。

	朝食を食べないことがある場合、その理由は？	人数	割合
1	時間がない	868	44.9%
2	食欲がない	394	20.4%
3	経済的理由	60	3.1%
4	ダイエットのため	93	4.8%
5	食べたり作ったりするのが面倒	261	13.5%
6	その他	74	3.8%
7	毎日きちんと食べるので当てはまらない	638	33.0%
	合計	2,388	-

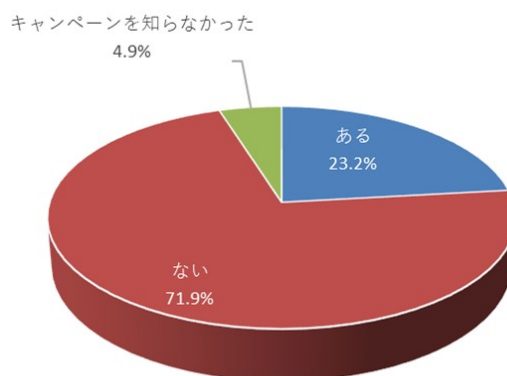


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.41 本学で定期的に行っている100円朝食キャンペーンを利用したことがありますか？

2022年度新設。100円朝食キャンペーンを利用したことがない学生が71.9%を占めた。

	本学で定期的に行っている100円朝食キャンペーンを利用したことがありますか？	人数	割合
1	ある	449	23.2%
2	ない	1,390	71.9%
3	キャンペーンを知らなかった	95	4.9%
	合計	1,934	100.0%



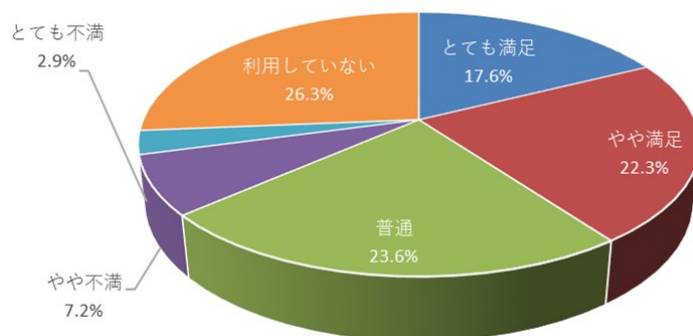
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.42 大学の食堂に満足していますか？

前回に引き続き「利用していない」という意見が最も多かったが、20.7ポイント減少した。「とても満足」が9.2ポ

イント、「やや満足」が9.6ポイント増加しており、合計は4割近くを占めた。

	大学の食堂に満足していますか？	人数	割合
1	とても満足	341	17.6%
2	やや満足	431	22.3%
3	普通	457	23.6%
4	やや不満	140	7.2%
5	とても不満	56	2.9%
6	利用していない	509	26.3%
	合計	1,934	100.0%

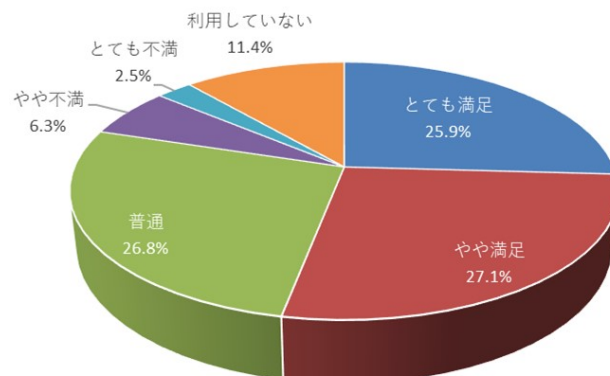


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.43 大学の購買施設(ファミリーマート、丸善キャンパスショップ)に満足していますか？

2022年度新設。「とても満足」「やや満足」が53.0%と半数以上を占めた。

	大学の購買施設(ファミリーマート、丸善キャンパスショップ)に満足していますか？	人数	割合
1	とても満足	501	25.9%
2	やや満足	525	27.1%
3	普通	518	26.8%
4	やや不満	121	6.3%
5	とても不満	49	2.5%
6	利用していない	220	11.4%
	合計	1,934	100.0%



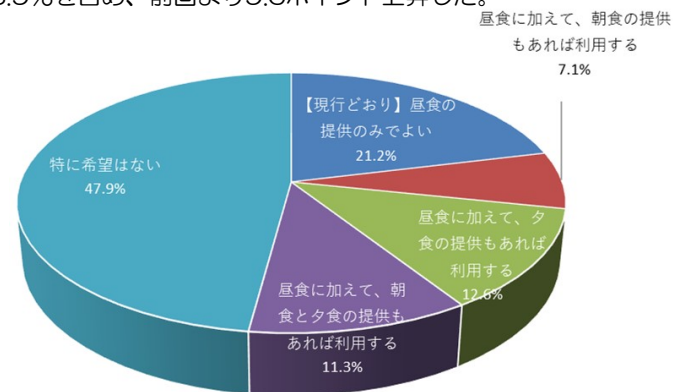
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.44 大学での食事の提供(食堂の営業)について

「特に希望はない」という意見が最も多かったが、一方で、「昼食に加えて夕食の提供もあれば利用する」「昼食に

加えて朝食と夕食の提供もあれば利用する」が合計して23.9%を占め、前回より9.6ポイント上昇した。

	大学での食事の提供(食堂の営業)について	人数	割合
1	【現行どおり】昼食の提供のみでよい	410	21.2%
2	昼食に加えて、朝食の提供もあれば利用する	137	7.1%
3	昼食に加えて、夕食の提供もあれば利用する	243	12.6%
4	昼食に加えて、朝食と夕食の提供もあれば利用する	218	11.3%
5	特に希望はない	926	47.9%
	合計	1,934	100.0%



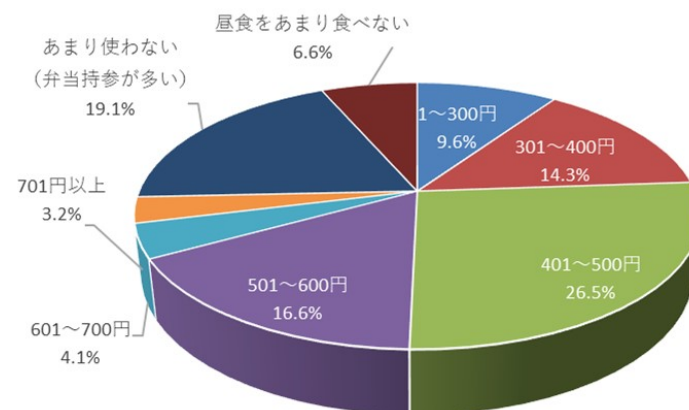
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.45 大学での昼食に使う金額は？(1回あたりの平均)

前回調査では「あまり使わない(弁当持参が多い)」が一番多かったが、今回は19ポイント減少した。一方で「401

～500円」の回答が一番多く、前回より8.2ポイント上昇した。

	大学での昼食に使う金額は？(1回あたりの平均)	人数	割合
1	1～300円	186	9.6%
2	301～400円	276	14.3%
3	401～500円	512	26.5%
4	501～600円	322	16.6%
5	601～700円	80	4.1%
6	701円以上	61	3.2%
7	あまり使わない(弁当持参が多い)	370	19.1%
8	昼食をあまり食べない	127	6.6%
	合計	1,934	100.0%



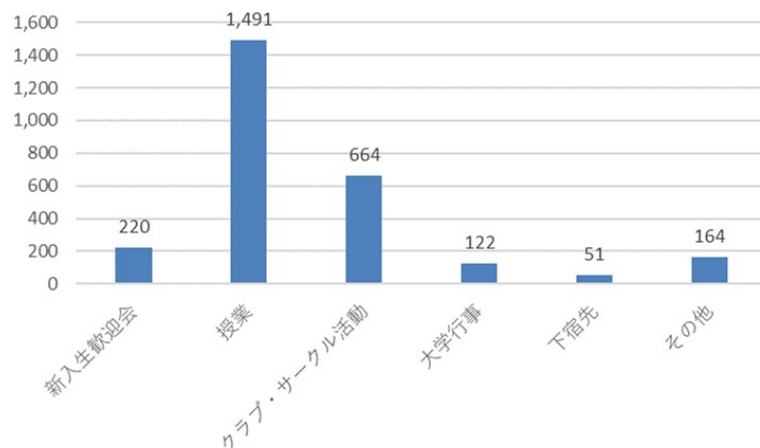
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

悩み・健康・食生活について

Q.46 学内の友人はどこでできましたか？ ※複数回答可

2022年度新設。「授業」が一番多く、ついで「クラブ・サークル活動」となった。日頃からより接点の多いコミュニティで形成されているようだ。

	学内の友人はどこでできましたか？	人数	割合
1	新入生歓迎会	220	11.4%
2	授業	1,491	77.1%
3	クラブ・サークル活動	664	34.3%
4	大学行事	122	6.3%
5	下宿先	51	2.6%
6	その他	164	8.5%
	合計	2,712	-

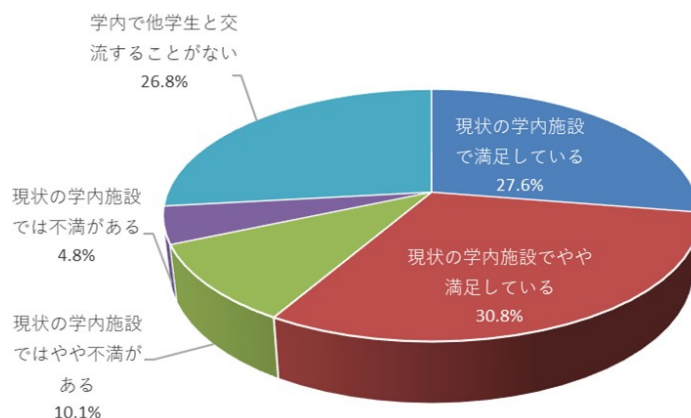


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.47 学内の学生同士の交流スペースについて、現状の満足度を教えてください。

2022年度新設。学内の学生同士の交流スペースについて「満足している」「やや満足している」の合計が58.4%と半数以上を占めた。

	学内の学生同士の交流スペースについて、現状の満足度を教えてください。	人数	割合
1	現状の学内施設で満足している	533	27.6%
2	現状の学内施設でやや満足している	596	30.8%
3	現状の学内施設ではやや不満がある	195	10.1%
4	現状の学内施設では不満がある	92	4.8%
5	学内で他学生と交流することがない	518	26.8%
	合計	1,934	100.0%



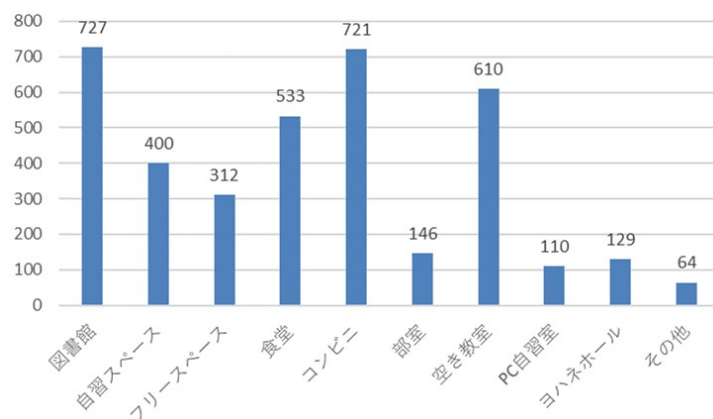
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.48 学内でよく利用する施設は？ ※複数回答可

2022年度新設。学内でよく利用すると回答した施設は「図書館」が37.6%で一番多く、次いで「コンビニ」「空き教室」「食堂」となった。「その他」では、バルナバ館3

Fのスペースを利用しているなどの回答があった。

	学内でよく利用する施設は？	人数	割合
1	図書館	727	37.6%
2	自習スペース	400	20.7%
3	フリースペース	312	16.1%
4	食堂	533	27.6%
5	コンビニ	721	37.3%
6	部室	146	7.5%
7	空き教室	610	31.5%
8	PC自習室	110	5.7%
9	ヨハネホール	129	6.7%
10	その他	64	3.3%
	合計	3,752	-



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.49 Q42とQ43の選択理由、また、交流スペースなどほしいと思う施設について

以下のような回答があった。

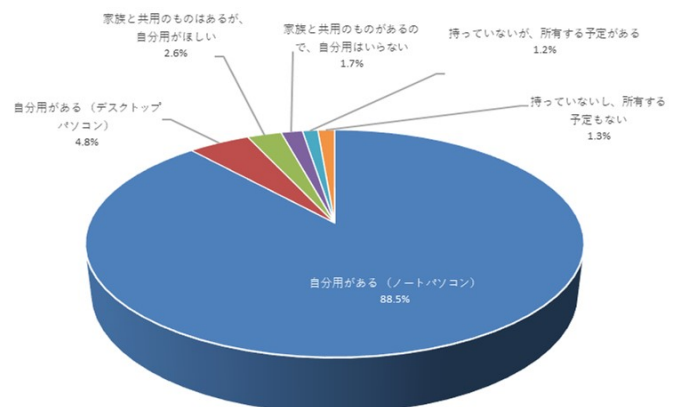
- 食堂のメニュー、バリエーションを増やしてほしい
- 食堂混雑時に食べることができない。
- 学食なのに高い
- 声の出せえる気軽なフリースペース
- 一人になれる個室

Q.50 パソコンを持っていますか？

今回も「自分用がある」の割合が88.5%と割合が高く、家族と共用のものがある、という回答と合わせると97.6%となった。2019年度調査では「自分用がある」は60.0%で家族共用のPC利用を含めても84.2%だった。2020年度

以降、COVID-19の影響により遠隔授業でモバイル情報端末の使用が必須となったことが要因のひとつと推測され、その傾向が続いているといえる。

	パソコンを持っていますか？	人数	割合
1	自分用がある（ノートパソコン）	1,711	88.5%
2	自分用がある（デスクトップパソコン）	92	4.8%
3	家族と共用のものがあるが、自分用がほしい	51	2.6%
4	家族と共用のものがあるので、自分用はいらない	32	1.7%
5	持っていないが、所有する予定がある	23	1.2%
6	持っていないし、所有する予定もない	25	1.3%
	合計	1,934	100.0%



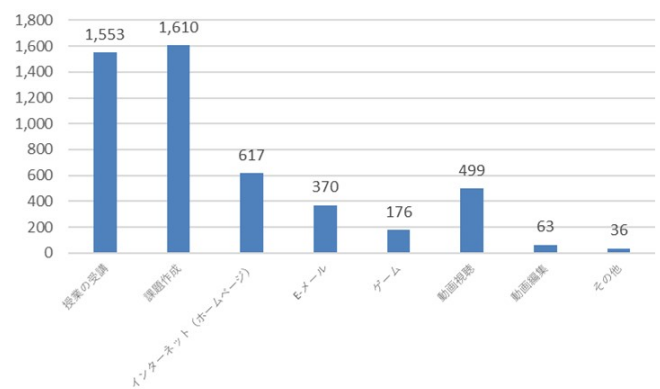
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.51 パソコンの主な利用目的は？ ※複数回答可

パソコンの利用目的について、今回より「授業の受講」「課題作成」「動画視聴」「動画編集」を選択肢に追加し、「文章作成」を省いた。前回調査時は「文章作成」が全体の6割以上を占めていたが、「授業の受講」と「課題作成」が

8割以上を占め、ここでもCOVID-19の影響が現れた形だ。なお、前回調査では「Eメール」が2.7%だったが、今回は16.4ポイント上昇した。

	パソコンの主な利用目的は？	人数	割合
1	授業の受講	1,553	80.3%
2	課題作成	1,610	83.2%
3	インターネット（ホームページ）	617	31.9%
4	Eメール	370	19.1%
5	ゲーム	176	9.1%
6	動画視聴	499	25.8%
7	動画編集	63	3.3%
8	その他	36	1.9%
	合計	4,924	-



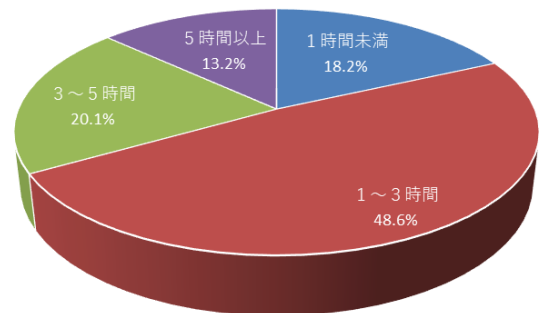
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.52 Webサイト、SNSの一日あたりの利用時間は？

今回より選択肢を「頻度」から「利用時間」に変更した。「1～3時間」が48.6%で一番多かった。令和4年8月に公表された総務省の調査報告書によると、平日の主なメディ

アの平均利用時間（ネット利用）が10代は「191.5分」、20代は「275分」である。

	Webサイト、SNSの一日あたりの利用時間は？	人数	割合
1	1時間未満	352	18.2%
2	1～3時間	939	48.6%
3	3～5時間	388	20.1%
4	5時間以上	255	13.2%
	合計	1,934	100.0%



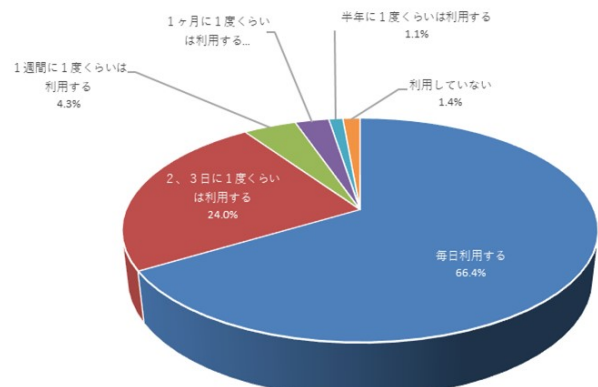
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.53 本学のWebサイト、SNS、M-port等の利用頻度は？

今回調査より、改めて設問に「Webサイト」のほかに「SNS」「M-Port」も含めた。前回に引き続き「毎日利用する」が19.7ポイント上昇し、半数以上を占めた。「2、3日に1度くらいは利用する」との合計では9割以上となり、

大学生活に必要な情報についても、インターネットから情報収集をすることが定着してきたといえるだろう。

	本学のWebサイト、SNS、M-port等の利用頻度は？	人数	割合
1	毎日利用する	1,284	66.4%
2	2、3日に1度くらいは利用する	465	24.0%
3	1週間に1度くらいは利用する	83	4.3%
4	1ヶ月に1度くらいは利用する	53	2.7%
5	半年に1度くらいは利用する	22	1.1%
6	利用していない	27	1.4%
	合計	1,934	100.0%



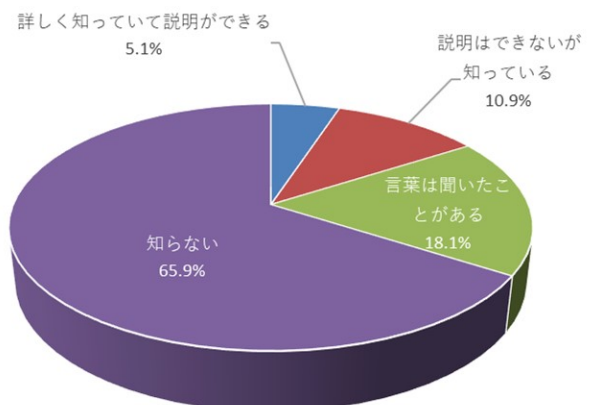
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.54 DX(デジタル・トランスフォーメーション)について知っていますか？

2022年度新設。DXとは「デジタル変革」ともいわれ、「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」を指す。今回の調査では「知らない」が半数

以上を占める結果となった。

	DX（デジタル・トランスフォーメーション）について知っていますか？	人数	割合
1	詳しく知っていて説明ができる	98	5.1%
2	説明はできないが知っている	210	10.9%
3	言葉は聞いたことがある	351	18.1%
4	知らない	1,275	65.9%
	合計	1,934	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

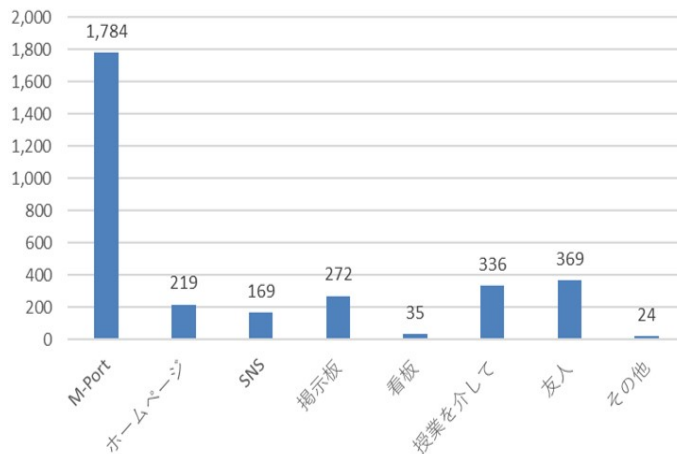
情報関連について

Q.55 本学からの情報はどこで取得していますか？ ※複数回答可

前回調査から引き続き「M-Port」が最も多く、45.5ポイント上昇となった。M-Portを活用した遠隔授業の実施が要因のひとつと思われるが、併せて大学からの情報をM-Portで入手・収集するというスタイルが浸透したといえる。なお、「M-Portからの転送設定により、G-mailで確認す

る」という回答もあったが、添付ファイルが転送されないため必ずM-Portへログインのうえ情報を確認してほしい。今回調査より「GoogleClassroom」を省き、「SNS」を選択肢に追加、また、「電光掲示板」から「看板」に、「少人数クラスを介して」を「授業」に変更した。

	本学からの情報はどこで取得していますか？	人数	割合
1	M-Port	1,784	92.2%
2	ホームページ	219	11.3%
3	SNS	169	8.7%
4	掲示板	272	14.1%
5	看板	35	1.8%
6	授業を介して	336	17.4%
7	友人	369	19.1%
8	その他	24	1.2%
	合計	3,208	-

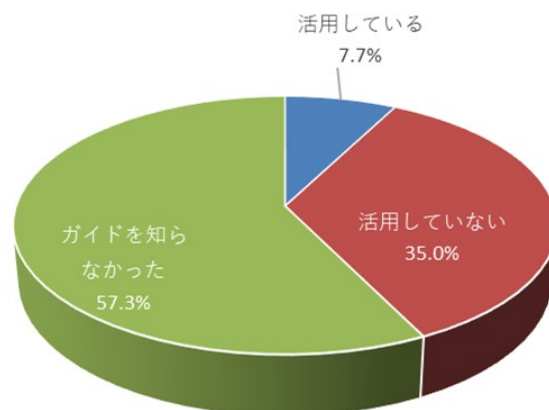


※縦一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.56 CampusGuide(大学HPに掲載の学生生活に関わる総合ガイド)を活用していますか？

新入生が大学生活に早く馴染めるよう、新入生向けの「Campus Guide」を本学Webサイトに公開している。前回調査に引き続き、「ガイドを知らなかった」が半数以上を占めたが、3.8ポイント減少した。

	CampusGuide(大学HPに掲載の学生生活に関わる総合ガイド)を活用していますか？	人数	割合
1	活用している	148	7.7%
2	活用していない	677	35.0%
3	ガイドを知らなかった	1,109	57.3%
	合計	1,934	100.0%



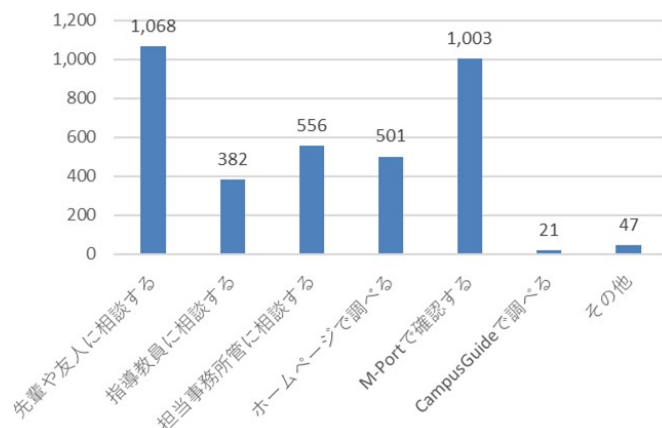
※縦一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

Q.57 学生生活の中で、どのような手続きをすべきかわからない場合、どうしますか？ ※複数回答可

「先輩や友人に相談する」が前回調査時より20.1ポイント、「M-Portで確認する」が18.6ポイント、「担当事務所に相談する」が13.8ポイント、「ホームページで調べる」が15.9ポイント上昇した。「先輩や友人に相談する」は例年高い割合を占めるが、「M-Portで確認する」もそれ

に迫り、「担当事務所に相談する」「ホームページで調べる」も前回調査から倍増した。大学が発信している情報手段がある程度認知され、また活用されていることがうかがえる。

	学生生活の中で、どのような手続きをすべきかわからない場合、どうしますか？	人数	割合
1	先輩や友人に相談する	1,068	55.2%
2	指導教員に相談する	382	19.8%
3	担当事務所に相談する	556	28.7%
4	ホームページで調べる	501	25.9%
5	M-Portで確認する	1,003	51.9%
6	CampusGuideで調べる	21	1.1%
7	その他	47	2.4%
	合計	3,578	-



※縦一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより示しています。

自由記述について

前回（2020年度）調査ではCOVID-19による影響が色濃く出た結果であったが、今回の調査も少なからず影響を伺わせる結果となった。自由記述欄では、授業に関すること、健康に関すること、経済支援に関することを中心に意見が寄せられた。

COVID-19関連と思われるものには、「空調の効きが悪い」「照明が暗い」「学費を補助してほしい」などがあった。

現在、キャンパス内は全面禁煙であるが、マナーに関する意見もあった。キャンパス内のみならず、キャンパス周辺も禁煙であるため、引き続きマナー改善に向けて啓発をしていきたい。

Q48の学内でよく利用する施設で「図書館」という回答

が最も多かったが、その一方で、声が出せる室内のフリースペースがほしいという意見もあった。

食堂については、内容を充実させてほしい、少し高いなどの意見を中心に改善提案があった。

課外活動については、徐々にコロナ禍の制約が緩和傾向にあるが、「コロナ前に戻してほしい」という意見があった。

政府や自治体からの要請等と足並みを揃えながら課外活動の制限を緩和していきたい。

